

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 17 日作成)

小委員会名	安全計画小委員会	主 査 名：志田弘二 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	設置目的：建築の新しい形態や使われ方、また関連技術の進歩にともなって発生する危険要因を抽出し、それに対応した安全計画のあり方を提案する 活動計画：テーマA「避難安全のバリアフリー計画」を継続 テーマB「想定外の災害・事故に対応した安全計画」を開始 2004年度：テーマAに関する成果のまとめとテーマBに関する基礎的調査研究 2005年度：テーマAに関する安全計画シンポジウムの開催 テーマBに関する成果のまとめ	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有(1名) 志田弘二(名市大)、福井 潔(日建設計)、水落秀木(清水建設)、掛川秀史(清水建設)、佐野友紀(早大)、土屋伸一(明野設備研究所)、富松大基(日本設計)、萩原一郎(独法建築研究所)、林 広明(大成建設設計)、古川容子(財法日本建築センター)、宮崎恵子(独法海上技術安全研究所)、村井裕樹(高橋建設コンサルタント)、八木真爾(佐藤総合計画)、吉村英祐(大阪大)以上14名	
設置 WG (WG 名：目的)	防災指針編集ワーキンググループ(主査：吉田克之) 建物の火災安全性能は、単に法令基準に適合させるだけでは不十分である。この問題を見据え、安全な建物を実現するうえで必要な考え方や対策などをまとめた、総合的な視点に立った防災計画の設計のガイドラインを作成する。	
2005 年度予算	201,000円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s6/

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 火災安全と建築設計・建築家のためのデザインガイド 防災指針編集WG(主査：吉田克之) 出版年月：2006年4月(予定)：180頁(予定) 出版社：森北出版
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	共催 1. 第45回建築人間工学研究会「群集事故の人間工学-事例を教訓として-」 建築人間工学小委員会と共催(2005年7月) 参加者数45名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 未達成：安全計画シンポジウムを開催できなかった
委員会活動の問題点・課題	1. ゼネコンや設計事務所に属する委員にとって、委員会活動に費やすことができる時間の確保が容易ではない。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。